



一般演題目次

第1日目 11月1日 口演

第2会場 (小ホール)

【一般 口演】

<9:00~9:30> 座長: 井上 佳(独立行政法人地域医療機能推進機構 四日市羽津医療センター)

- | | | |
|---|------------------------------------|----------|
| 1 | セルブロックを用いたPython OpenCV学習支援手法の提案 | 蜂須賀 大輔ほか |
| 2 | 尿沈渣分析装置 AUTION EYE: AI-4510の基礎性能評価 | 寺島 みさきほか |
| 3 | 髄液一般検査がクリプトコッカス髄膜炎の診断の一助となった1例 | 山下 紗奈ほか |

【輸血 口演】

<9:30~10:00> 座長: 南里 隆憲(名古屋市立大学病院)

- | | | |
|---|--|----------|
| 4 | 免疫グロブリン大量静注療法後に抗Aが検出され、O型赤血球製剤を輸血した1症例 | 中村 美香ほか |
| 5 | 過粘稠度症候群により輸血前検査に苦慮した一例 | 衾永 莉奈ほか |
| 6 | O型との判別に苦慮したA亜型の症例 | 若林 さやかほか |

【血液 口演】

<10:00~10:40> 座長: 神戸 歩(岐阜大学医学部附属病院)

- | | | |
|----|---|---------|
| 7 | 凝固検査装置の搬送ライン接続による残存血小板数および測定結果への影響 | 見浦 悠斗ほか |
| 8 | 当院における血小板測定異常に対する運用基準の見直しとその実践 | 足立 翔里ほか |
| 9 | DOACによるPT/APTTへの影響とDOAC-Stopを用いた薬剤除去に関する基礎的検討 | 川村 一誠ほか |
| 10 | クロスミキシングテストにおけるAPTT試薬変更の影響とその特徴 | 安岐 優伽ほか |

<10:40~11:10> 座長: 佐藤 聖子(藤田医科大学病院)

- | | | |
|----|---------------------------------|---------|
| 11 | 破碎赤血球の所見報告により早期に治療を開始できたTMAの3症例 | 高山 拓也ほか |
| 12 | 血液像自動分析装置DI-60の新規導入における効果 | 梶本 幸伸ほか |
| 13 | 血液像自動分析装置DI-60を活用した破碎赤血球の定量評価 | 齋藤 実菜ほか |

【免疫血清 口演】

<11:10~11:50> 座長: 武藤 延秋(JA岐阜厚生連 東濃中部医療センター東濃厚生病院)

- | | | |
|----|------------------------------------|----------|
| 14 | 急速凝固血清採血管が血清検体の生化学免疫検査測定値に及ぼす影響の検討 | 牛丸 明香理ほか |
| 15 | S2,3PSA%の臨床的有用性の検討 | 青木 健人ほか |
| 16 | コルチゾール及びACTHの院内導入に向けた基礎検討と院内導入後の効果 | 石本 睦 |
| 17 | HISCL M2BPGi-Qt試薬の基礎的性能評価 | 濱口 穂那美ほか |

【病理 口演】

<13 : 10～13 : 50> 座長: 福田 弘幸(市立砺波総合病院)

- | | | |
|----|--|---------|
| 18 | 特殊染色自動化に向けた検討 | 大越 純也ほか |
| 19 | 酸性脱灰液がレーザーカセット印刷装置 (C100) の印刷面への与える影響の検討 | 宮本 有理ほか |
| 20 | 当院における病理診断報告書の既読未読管理 | 村瀬 華ほか |
| 21 | EGFR遺伝子変異における単一遺伝子検査とマルチプレックス検査との検討 | 池谷 朱美ほか |

【生理 口演】

<14 : 00～14 : 30> 座長: 中川 夏輝(国立大学法人 富山大学附属病院)

- | | | |
|----|--------------------------|----------|
| 22 | HACEK群による感染性心内膜炎の一例 | 丸山 明日香ほか |
| 23 | ヌーナン症候群に合併した肥大型心筋症の一例 | 山中 梓紗ほか |
| 24 | 特異な左室壁運動異常を呈したループス心筋炎の一例 | 山田 主ほか |

<14 : 30～15 : 00> 座長: 神谷 敏之(社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院)

- | | | |
|----|--------------------------------------|----------|
| 25 | 空手パンチが引き金となった外傷性心筋梗塞の1例 | 新家 加奈子ほか |
| 26 | 冠動脈瘤を伴った冠動静脈瘻の症例 | 西野 諒ほか |
| 27 | 大動脈四尖弁における弁閉鎖様式の検討 : bill signの臨床的意義 | 中津 脩平ほか |

<15 : 00～15 : 30> 座長: 堤坂 祥子(静岡済生会総合病院)

- | | | |
|----|--|---------|
| 28 | 首下がり症候群の治療効果判定における超音波検査の有用性について | 鈴木 遼ほか |
| 29 | 腹部軟部組織に発生した軟部血管線維腫(Angiofibroma of soft tissue ; STA)の一例 | 堀内 明子ほか |
| 30 | 三重県下初となる乳腺自動超音波検査装置 (Invenia ABUS 2.0) 導入について | 上阪 浩矛ほか |

<15 : 30～16 : 00> 座長: 塩崎 真弓(国立大学法人 富山大学附属病院)

- | | | |
|----|--|----------|
| 31 | IPMN (膵管内乳頭粘液性腫瘍) の経過観察中に膵管と胃の交通を認めた症例 | 太田 有紀ほか |
| 32 | 超音波検査が診断に有用であった膵野型膵管癌の一例 | 中嶋 奏歩ほか |
| 33 | 肝細胞癌との鑑別に苦慮した肝血管筋脂肪腫の一例 | 大河内 菜央ほか |

第2日目 11月2日 口演

第2会場 (小ホール)

〔生理 口演〕

<9:00~9:30> 座長: 前田 圭介(藤田医科大学)

- 34 急速進行性に両側聾を呈したANCA関連血管炎性中耳炎の一例
- 35 睡眠時反復検査における客観的眠気と聴覚変化応答
- 36 当院における体ブレスチモグラフ法を用いた精密肺機能検査の比較検討

西谷 静香ほか
中山 裕介ほか
井田 葉津季ほか

<13:15~13:45> 座長: 信太 俊範(鈴鹿中央総合病院)

- 37 当院のタスク・シフト/シェアの取り組み～造影超音波検査にて静脈路確保～
- 38 当院における心エコー図検査の内部精度管理
- 39 神経伝導検査における検査手技標準化の取り組みと効果

溝口 君子ほか
浦山 直樹ほか
伊藤 馨太郎ほか

<13:45~14:25> 座長: 油野 岳夫(金沢大学附属病院)

- 40 透析患者における心音図検査装置(超聴診器)の有用性についての検討
- 41 心房細動類似波形を呈する心室二重応答の一例
- 42 12誘導心電図から左上大静脈遺残を推測しカテーテルアブレーションに貢献できた1例
- 43 心電図検査における内部精度管理の取り組み

伊藤 明日香ほか
山田 直弥ほか
前田 瑞葵ほか
佐々木 歩美ほか

〔微生物 口演〕

<9:30~10:10> 座長: 大澤 稜(地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター)

- 44 GENCUBEを用いたマイコプラズマPCR検査が抗菌薬適正使用に与える影響
- 45 当院におけるFilm Array®システムの活用について
- 46 *Bartonella henselae*感染性心内膜炎の1例
- 47 髄膜炎菌による肺炎と敗血症、髄膜炎を発症した1症例

鈴木 涼太ほか
加納 若奈ほか
三田村 侑香ほか
福井 花依ほか

<10:10~10:40> 座長: 片山 雪絵(医療法人社団 浅ノ川 浅ノ川総合病院)

- 48 ESBL産生腸内細菌目細菌におけるRaST-TAS®の性能評価
- 49 臨床検体におけるクロモアガー mSuper CARBAの夾雑菌発育実態の検討
- 50 当院における抗酸菌検出状況について

村上 琴音ほか
川島 大輝ほか
田中 美月ほか

【チーム医療・その他 口演】

<10:40～11:20> 座長: 日比 敏男(大垣市民病院)

- | | | |
|----|--|---------|
| 51 | 当院NSTにおける臨床検査技師の役割 | 長坂 直子ほか |
| 52 | 内視鏡検査室における臨床検査技師の介入 | 高川 真唯ほか |
| 53 | 造影超音波検査前の静脈路確保に関する運用改善の取り組み | 鈴木 里奈ほか |
| 54 | 当院における採尿補助具および採尿カップ専用蓋の利用者調査と患者背景についての検討 | 上野 嘉彦ほか |

【遺伝子・染色体 口演】

<11:20～11:50> 座長: 村上 真理子(医療法人 豊田会 刈谷豊田総合病院)

- | | | |
|----|---|---------|
| 55 | 全自動遺伝子解析システムAlinity m System導入とその効果 | 寺本 江見ほか |
| 56 | NGSで検出された低頻度EGFR変異に対するdigital PCR検査の有用性 | 西尾 美帆ほか |
| 57 | 岐阜県内における染色体・遺伝子関連検査の実施状況調査 | 澤田 清矢ほか |

【臨床化学 口演】

<14:25～14:55> 座長: 野村 ひろみ(独立行政法人 国立病院機構 金沢医療センター)

- | | | |
|----|---------------------------------------|---------|
| 58 | 当院における生化学免疫部門フルオートメーションシステムによる効率化について | 芦川 直輝ほか |
| 59 | 当院における5年間の重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の症例検討 | 山下 舞耶ほか |
| 60 | Fe、UIBC、フェリチン検査の院内導入の効果について | 畠山 令ほか |

第1日目 11月1日 示説

第9会場 (第2ギャラリー)

ポスター会場A

【一般 示説】

<15:00~15:40> 座長: 伊藤 彰洋(JA愛知厚生連 豊田厚生病院)

- | | | |
|----|-----------------------------------|---------|
| 61 | 尿定性試験機器更新における相関性評価 | 辻 愛琳ほか |
| 62 | 当院における尿沈渣検査内部精度管理への取り組み | 長澤 美紀ほか |
| 63 | 小児の尿沈渣においてトスフロキサシン結晶を認めた1症例 | 田中 佑佳ほか |
| 64 | セフトリアキソンを疑う薬物結晶の検出意義と報告方法の重要性について | 前田 佳成ほか |

<15:40~16:20> 座長: 加藤 洋平(岐阜大学医学部附属病院)

- | | | |
|----|--|---------|
| 65 | 多項目自動血球分析装置XRシリーズを用いた髄液検査 | 西尾 愛結ほか |
| 66 | メイ・ギムザ染色にて髄液塗抹検査が有用であった原発性中枢神経系悪性リンパ腫2症例 | 佐藤 綾音ほか |
| 67 | 変形性膝関節症(OA)における関節液顕微鏡所見について | 米田 操ほか |
| 68 | 当院における腹水濾過濃縮再静注法(CART)濾過濃縮前後の細胞数測定の運用 | 藤上 卓馬ほか |

ポスター会場E

【輸血・チーム医療・臨床化学・教育 示説】

<15:00~15:30> 座長: 村越 大輝(地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立総合病院)

- | | | |
|----|------------------------------------|---------|
| 69 | HPLC法におけるHbA1c測定エラーから異常Hbが疑われた一例 | 大石 藍ほか |
| 70 | プール血清の保存状態が酵素活性に及ぼす影響について | 伊藤 愛佳ほか |
| 71 | 新生児におけるアンバウンドビリルビン及びBil/Alb比に関する検討 | 廣瀬 翔ほか |

<15:30~16:00> 座長: 北尾 時輝(焼津市立総合病院)

- | | | |
|----|---------------------------------------|---------|
| 72 | 血液内科にて化学療法を実施した患者におけるレジメン別輸血効果の推移について | 阿部 祐子ほか |
| 73 | 当院における輸血前後感染症検査および輸血前検体保管の取り組み | 中村 由美ほか |
| 74 | 臨床検査技師による初期研修医輸血教育の取り組みと成果 | 岡本 拓真ほか |

<16:00~16:30> 座長: 仁科 正樹(独立行政法人 国立病院機構 三重中央医療センター)

- | | | |
|----|----------------------------------|---------|
| 75 | 物語「ばい菌博士のつぶやき」の著作と国家試験対策への利用について | 村田 園萌ほか |
| 76 | 臨地実習において内視鏡のみの実習受け入れを経験して | 今村 倫敦 |
| 77 | 臨地実習における当院の取り組みと課題 | 市川 孝昭ほか |

<16:30~17:00> 座長: 羽切 政仁(一般財団法人 芙蓉協会 聖隷沼津病院)

- | | | |
|----|-----------------------|---------|
| 78 | 当院におけるSAP導入・継続支援の取り組み | 久住 裕俊ほか |
| 79 | 臨床検査技師による患者同意取得の取り組み | 西尾 美帆ほか |
| 80 | 再採血削減に向けての検査室からの提案 | 高野 光平ほか |

ポスター会場D

[血液 示説]

<15 : 00~15 : 40> 座長: 杉澤 きよ美(沼津市立病院)

- | | | |
|----|------------------------------|----------|
| 81 | DICを契機に診断された骨髄癌腫症の一例 | 伊藤 蒼ほか |
| 82 | Cuplike芽球を認めたAMLの一例 | 平尾 早希ほか |
| 83 | 縦隔原発胚細胞腫-血液悪性腫瘍症候群の1症例を経験して | 寺田 しのぶほか |
| 84 | 治療抵抗性で急激な経過を辿った劇症型多発性骨髄腫の1症例 | 松浦 いぶきほか |

<15 : 40~16 : 20> 座長: 杉田 拓海(黒部市民病院)

- | | | |
|----|-----------------------------------|---------|
| 85 | 当院で経験した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍 (BPDCN) の一例 | 堺 夕貴ほか |
| 86 | 重度の貧血を呈した骨髄原発性悪性リンパ腫の一例 | 柴田 洋綺ほか |
| 87 | 急性巨核芽球性白血病の同定における芽球形態とCD41強陽性の意義 | 萱場 理恵ほか |
| 88 | 希少なアグレッシブNK細胞白血病の1症例 | 永谷 大輔ほか |

<16 : 20~17 : 00> 座長: 山崎 貴子(公益社団法人 石川勤労者医療協会 城北病院)

- | | | |
|----|---|---------|
| 89 | 低寄生率の血液塗抹標本が診断の契機となった三日熱マラリアの1症例 | 石垣 星南ほか |
| 90 | 無形性発作を呈した遺伝性球状赤血球症の1例 | 村田 亘ほか |
| 91 | 血液検査室からの進言が迅速な診断に繋がったパルボウイルス B 19 感染症症例 | 佐野 智紀ほか |
| 92 | ヒトパルボウイルス感染症による貧血を伴わない赤芽球癆における網状赤血球の意義 | 谷渕 将規ほか |

ポスター会場F

[病理・細胞・チーム医療・その他・管理運営 示説]

<15 : 00~15 : 40> 座長: 岡本 智裕(社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院)

- | | | |
|----|--|----------|
| 93 | 子宮体部脱分化癌の1例 | 藤岡 眞理ほか |
| 94 | 皮膚クリプトコックス症を認めた一例 | 澤田 有倭香ほか |
| 95 | 当院のHER2-FISH検査「増幅あり」患者のHER2/CEP17比率と動向調査について | 稲垣 裕介ほか |
| 96 | コンパクトパネル導入に向けた臨床へのアプローチと導入後の変化 | 越戸 香琳ほか |

<15 : 40~16 : 20> 座長: 宮野 拓也(豊橋市民病院)

- | | | |
|-----|---|----------|
| 97 | 乳腺細胞診で鑑別困難と判定した線維腺腫内発生DCISの一例 | 丸井 理恵子ほか |
| 98 | 当院における子宮頸がん検診の実情 | 大嶋 楓ほか |
| 99 | 当院における液状化検体細胞診 (liquid-based cytology : LBC) 法導入の試み | 橋村 正人ほか |
| 100 | 当院での病理検査業務拡大における課題と効果 | 矢野 孝明ほか |

<16 : 20~17 : 00> 座長: 小林 千明(伊勢赤十字病院)

- | | | |
|-----|------------------------|----------|
| 101 | 当院のパニック値報告における取り組み | 中島 佳那子ほか |
| 102 | 当院におけるパニック値運用の見直しについて | 長谷川 圭ほか |
| 103 | 当院における医療安全への新たな取り組み | 長谷川 有紀ほか |
| 104 | 当院における災害対応体制整備に向けた取り組み | 高本 智史ほか |

ポスター会場A

[生理 示説]

<16 : 20~16 : 50> 座長: 岸江 知哉(社会福祉法人 恩賜財団 済生会松阪総合病院)

- | | | |
|-----|----------------------------|----------|
| 105 | 当院におけるパッチ型長時間ホルター心電計の運用経験 | 土田 悠加ほか |
| 106 | パッチ型長時間心電計の自動解析後の目視による追加解析 | 魚尾 紗羽ほか |
| 107 | 当院におけるパッチ型長時間心電計の使用経験 | 鈴木 秋桜里ほか |

ポスター会場B

<15 : 00~15 : 30> 座長: 長屋 麻紀(地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター)

- | | | |
|-----|--------------------------------------|----------|
| 108 | 生理検査室におけるISO15189取得に向けた取り組み | 佐野 七菜ほか |
| 109 | 当院生理検査における臨地実習の取り組み | 中島 佳那子ほか |
| 110 | ISO15189取得に向けた当院における心電計の内部精度管理の現状と課題 | 向井 優真ほか |

<15 : 30~16 : 00> 座長: 神野 真司(藤田学園 藤田医科大学ばんだね病院)

- | | | |
|-----|-----------------------------|---------|
| 111 | 側頭動脈エコーが巨細胞性動脈炎の診断に有効であった一例 | 中出 慧ほか |
| 112 | severe ASと誤判定した僧帽弁逸脱症の一例 | 山岸 拓巳ほか |
| 113 | 当院での経皮的卵円孔開存閉鎖術における技師の役割 | 福島 詩織ほか |

<16 : 00~16 : 30> 座長: 岩崎 佐知子(富士市立中央病院)

- | | | |
|-----|---|----------|
| 114 | 当院にて実施された法的脳死判定での脳波検査の取り組み | 飯田 佳子ほか |
| 115 | VEEGとトレンド解析が治療評価に有用であった難治頻回部分発作重積型急性脳炎の1例 | 坪井 日菜里ほか |
| 116 | 呼気NO濃度測定装置において内部精度管理を行うことで機器の不具合を指摘し得た事例 | 山中 美波ほか |

<16 : 30~17 : 00> 座長: 中出 祐介(金沢大学附属病院)

- | | | |
|-----|--|---------|
| 117 | 表皮嚢腫における超音波検査所見と病理組織診断の不一致症例の検討 | 糸川 沙耶ほか |
| 118 | 代謝異常関連脂肪性肝疾患における線維化評価: FIB-4・FIB-3の比較 | 田中 友梨ほか |
| 119 | 住民健診における血液線維化マーカーおよび肝硬度測定を用いた線維化リスク評価の検討 | 加藤 里沙ほか |

〔微生物 示説〕

ポスター会場C

<15 : 00～15 : 40> 座長: 中村 雅彦(富山県立中央病院)

- 120 インフルエンザ関連肺アスペルギルス症患者の救命に貢献できた1例
- 121 当院の便汁検査で検出された *Brachyspira*属菌について
- 122 血液培養から*Bacillus cereus*を検出した当院の事例
- 123 非結核性抗酸菌感染による化膿性脊椎炎の一例

籠 徹ほか
林 夢矢ほか
児玉 佳輝ほか
伊藤 香ほか

<15 : 40～16 : 20> 座長: 鈴木 更織(西尾市民病院)

- 124 遺伝子検査が有用であったアメーバ性肝膿瘍の1症例
- 125 *Corynebacterium*関連尿路感染を起点としたNH₃上昇による意識障害の一例
- 126 *Enterobacter hormaechei* ESBL産生株に関する報告
- 127 活動性結核患者におけるQFT検査の陽性一致率

森川 智仁
谷口 寿章ほか
水野 愛海ほか
鈴木 真生ほか

<16 : 20～17 : 00> 座長: 石井 浩崇(N T T東日本 伊豆病院)

- 128 バクテアラートにおけるSA・SNボトルとFA Plus・FN Plusボトルの比較検討
- 129 当院におけるGENECUBEを用いた百日咳菌遺伝子検査の運用に向けた検討
- 130 菌血症における血中エンドトキシン濃度による有用なカットオフ値の検討
- 131 当院微生物検査室における内部精度管理「目合わせチェック」の状況

加藤 淳也ほか
小島 奏汰ほか
横山 颯大ほか
高羽 桂ほか